

タイトル	私たちの宝物「天蚕飼育」
名称（学校・地域）	安曇野市立穂高北小学校
日時・場所等	
ホームページアドレス	<a href="http://www3.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2010009">http://www3.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2010009</a>

### 【教育活動の内容】

昭和58年、自然豊かな環境に育ちながら、実際には自然に対してあまり興味がないという子ども達の現状から「自然に親しみ、ふるさとを愛する子どもを育てる」という学校教育目標をかかげ、地域の自然や社会に関する事柄を教材として取り組み始めました。

天蚕飼育は「総合的な学習の時間」に位置づけ、3年生は「わたしたちの天蚕」として25時間、4年生は「天蚕を飼育しよう」として30時間、6年生は「天蚕コサージュ作り」として8時間をあてて活動しています。5月中旬、天蚕林の手入れ・天蚕林で山付け。6月、「ピン差し飼育」について地域ボランティアの方から指導を受け、飼育を開始。2人で2L入りペットボトル1本を使い、各自、自分の天蚕を飼育します。天蚕日記やカードに観察記録を記入。7月上旬、天蚕が繭を作り始め、7月中旬には天蚕林で繭を収穫。6年生の2月まで保存し、コサージュを作って卒業式に保護者につけていただくようになっています。天蚕飼育に当たっては、地域ボランティアの方々に来ていただき、天蚕林手入れ（ネット張り・害虫の駆除等）・飼育の仕方・観察の観点・雄雌の区別・コサージュ作り等、全般にわたりご指導いただいています。本校の活動の特徴は、一人一人が自分の天蚕を飼育していること、地域ボランティアとして天蚕センターの方々からご指導・ご支援いただくことで、地域との連携を深めていること、幼虫の葉の食べ方や水の飲み方、枝のつかみ方等の行動、幼虫や繭の鮮やかな緑色が児童の興味関心を強く示す教材となるヤママユを選んでいることがあります。今年度は、大日本蚕糸会から、天蚕飼育に功劳している学校として奨励賞をいただきました。全国4校のうちの1校に選んでいただいたことを光栄に思っております。これからも、天蚕飼育は地域の宝物として、大切に組み込んでいきたいと思っています。



←天蚕の繭で作ったコサージュ



天蚕林での天蚕飼育の様